

登録コード	E9142300	開講年度	2026					
授業科目	人体の構造と機能及び疾病B					担当教員	水口 崇	
英文授業名						副担当		
単位数	1	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生		
講義室				授業形態	講義	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 Eカリ, 2 5 Eカリ, 2 4 Eカリ, 2 3 Eカリ, 2 2 Eカリ, 2 1 Eカリ, 2 0 Eカリ							
	教育の専門家に求められる深い教養に根ざした公共的使命感や倫理観					⇔		
	教育活動を支え、実現する上で不可欠な専門的知識・技能					⇔		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	1. 身体の主要な器官の進化と発生 2. 身体の主要な器官の機能と構造、疾病							
(5)授業計画	第 1 回：オリエンテーション 第 2 回：肺の成り立ち、肺の機能と疾病 第 3回：消化器系の成り立ち、消化器系の機能と疾病 第 4回：視覚系と聴覚系の成り立ち 第 5回：視覚系と聴覚系の機能と疾病 第 6回：内分泌系の成り立ち、内分泌系の機能と疾病 第 7回：運動器と骨格の成り立ち、機能と疾病【授業アンケートの実施】							
(6)成績評価の方法	成績評価の考え方は、次の通りである。 ・授業中の小レポートにより、みずからが考え、自己啓発に努めることができるかをはかる（40%）。 ・計2回の中レポートにより、授業を通して考えたこと、気づいたことについて問う（60%）。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可。							
(7)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの内容が書かれていれば「水準にある」、より高いレベルの内容が書かれていれば「かなり上にある」、やや高度なレベルの内容が書かれていれば「やや上にある」、非常に高度なレベルの内容が書かれていれば「卓越している」。							
(8)事前事後学習の内容	毎回の授業時に指示される課題内容について、当該テーマの研究の背景や関連する事柄の調査、授業で学んだ内容を拡張する目的で、さらに広く深く文献研究を行うなど、事前・事後の取り組みを行い授業に臨むこと。							
(9)履修上の注意	取り扱った内容のみでなく、予習や復習によって知識や見解を広げ、現代の問題について深く理解すること。							
(10)質問，相談への対応及び連絡先	mizutaka@shinshu-u.ac.jp （水口崇）							
【教科書】	特に無し							
【参考文献】	適宜紹介する							